

(参考情報) 韓国農林畜産食品部公表情報

農林畜産食品部プレスリリース (2015年9月25日17時00分付け)

秋夕連休期間の特別防疫推進と畜産関連車両関係省庁合同取り締まり実施

出典URL:

http://www.maf.go.kr/list.jsp?&newsid=155447256§ion_id=b_sec_1&pageNo=1&year=2015&listcnt=10&board_kind=C&board_skin_id=C3&depth=1&division=B&group_id=3&menu_id=1125&reference=&parent_code=3&popup_yn=&tab_yn=N

(機械翻訳等に基づく仮訳)

《 最近の動向 》

- 全羅南道羅州市・康津郡のあひる農場における出荷前検査（9月14日）、光州広域市・全羅南道潭陽郡の家きん売場常時予察（9月16日）の過程で高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）が4件発生
- 疫学関連農場の予察過程で光州広域市・光山区のあひる農場で鳥インフルエンザ（AI）抗原が確認（9月22日、高病原性かどうか検査中）され、先制的な防疫措置を実施

〈秋夕連休期間特別防疫推進〉

（国民に対する広報）農食品部は秋夕連休期間中、鳥インフルエンザ（AI）の拡散を防止するために、帰省客や畜産農家を対象に多様な広報を実施する。

○秋夕連休前の9月25日、KTX駅、バスターミナルなどの主要交通施設を利用する帰省客を対象に広報キャンペーンを実施した。

○AI発生地域及び危険地域、渡り鳥の飛来地などでは、防疫垂れ幕の設置や村の放送などを介して、消毒などのブロック防疫の徹底、畜産従事者の集まり・イベント自粛などを推進する。

*農食品部長官は、龍山駅、次官は江南高速バスターミナルからキャンペーンを実施（9月25日）

（畜産関連車両の取り締まり）9月24日に開催された国家政策調整会議のフォローアップとして、首相の指示に応じて、農食品部、自治体や警察などの関係機関と合同で、9月26日から10月8日まで、畜産車両が車両無線認識装置（GPS）付きかどうかなどを集中的に取り締まる。

○秋夕連休期間中の車両の移動に伴う鳥インフルエンザ（AI）の拡散を防止するため、農食品部（検疫本部）及び警察庁では、家畜運搬車などの車両無線認識装置（GPS）を義

務的に装着する必要がある畜産車両について、車両無線認識装置（GPS）付きか、可動（故障など）するか、一時除去、および電源遮断などの違反がないかどうかを集中的に取り締まり・点検する。

○特に、10の高リスク自治体については、管轄警察庁など関係機関と協力し、特別点検班を編成して集中点検・取り締まりを実施し、違反を摘発した場合には、違反車両情報の公開や罰則の適用などの制裁措置をとる計画である。

* 10の市・郡・区：（光州広域市）光山区、（全羅北道）扶安郡、（全羅南道）康津郡、谷城郡、羅州市、靈岩郡、長興郡、咸平郡、順天市、潭陽郡

（消毒の強化など）、秋夕連休直後の9月30日（水）に「全国一斉消毒の日」を開催する。

○ビッグデータ分析*および疫学調査の結果に基づき、リスク自治体（10の市・郡・区）については一斉消毒の頻度を倍以上に強化（週1→2回以上、9月18日～）する。

○また、全家きん農場・施設について一斉点検（9月24日～10月2日）を実施する計画である。

* 「KTビッグデータ基盤AI拡散リスク分析」は、状況の変化に応じて継続的に補完

（非常勤務体系）農食品部など防疫関連機関は、秋夕連休期間中、24時間の緊急事態勤務体系を稼働する。

（協力及び依頼事項）農食品部は、故郷に規制する国民に対し、鳥インフルエンザ（AI）の拡散防止のため、あひるなどの畜産農家への訪問を自粛するよう依頼した。

○また、畜産農家に対し、部外者・車両の出入り制限、農場の消毒などを徹底し、ブロック防疫措置を取るよう依頼した。